

令和5年度 患者満足度調査結果の報告

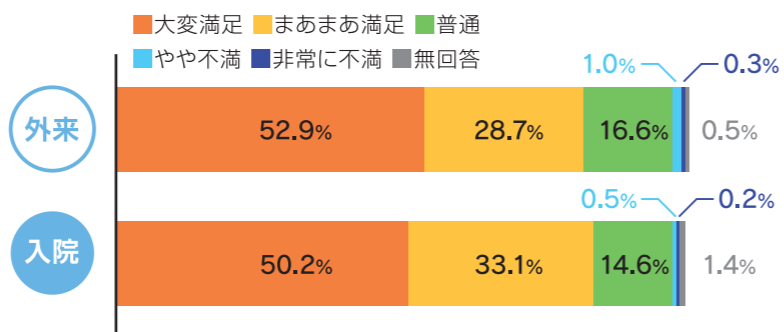
吉田総合病院ではより良い病院作りのため患者様にアンケート調査を実施しています。多くの患者様にご協力いただきありがとうございました。いただきましたご意見に真摯に向き合い改善に取り組んで参ります。

調査期間: **入院** 令和5年10月1日~30日 **外来** 令和5年10月17日~18日

回答数: **入院** 131名 **外来** 287名

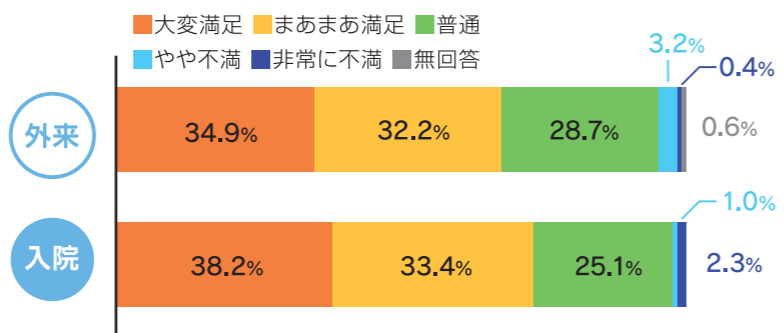
職員の接遇

満足・やや満足が外来81.6%入院は83.3%と高い評価をして頂きました。さらに満足して頂けるように、研修などを行い接遇の向上に取り組んで参ります。



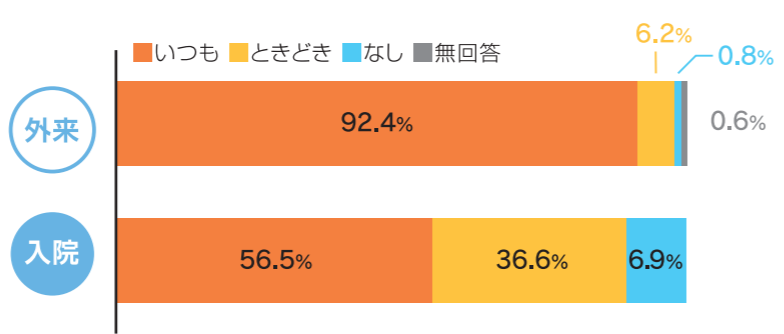
施設・機能

外来の満足・やや満足が67.1%、入院が71.6%とやや低い評価を頂きました。これは施設の老朽化により不自由をおかけしている点と、外来の名前の呼び出しなどでプライバシーが保たれていないことから評価が低かったと考えます。ご意見に対しましては今後も改善に取り組んで参ります。



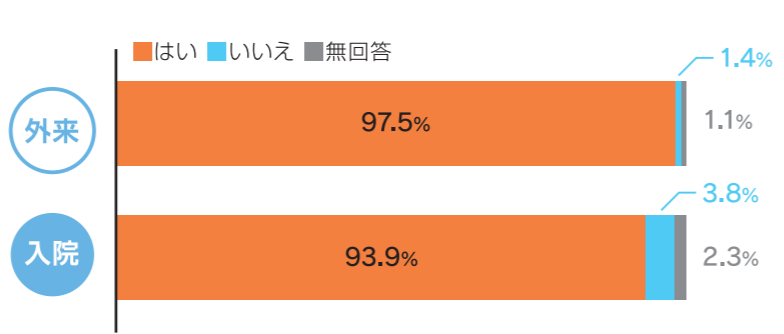
安全への取り組み

お名前を名乗って頂くように声掛けをしていますか?について「いつもできている」は外来が92.4%、入院が56.5%でした。入院での名前確認が低いことについて確認し、今後も医療安全教育を継続し、患者様の安全への取り組みを行って参ります。



今後の利用

外来は97.5%、入院は93.9%と高い評価を頂きました。当院が地域で唯一の総合病院であり地域の方にはなくてはならない病院であると改めて実感しました。今後も患者様の期待に応え満足していただけるよう取り組んで参ります。

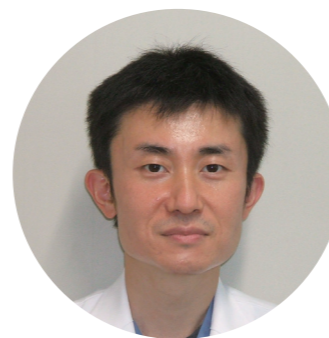


*待ち時間については別途報告させて頂く予定です。

サービス向上委員会

腎臓について

内科部長 吉田 健



1日に人間の体で作られる尿量(原尿)はどれくらいだと思いますか。実は、約150Lもの大量の尿が生成されています。ですが、普段はその1/100に相当する約1.5L程度の尿量が排泄されるに過ぎません。つまり、血液を濾過してできた原尿のうち、99%は体内へ再吸収されているのです。

一見、非常に無駄の多い仕事に見えます。ですが、これだけ余裕を持たせることで、水分や電解質などの過不足に対して柔軟に対応することが可能となり体の恒常性が維持できるわけです。そしてその仕事は、たった120g程度の腎臓2つが24時間365日絶えず働き続けることで賄われています。

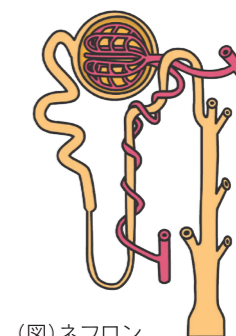
濾過や再吸収をする装置はそれぞれ糸球体・尿細管と呼ばれ、ひも状に繋がってネフロン(図)

と呼ばれる塊となり、この塊が1つの腎臓に約100万個存在します。これらが何らかの理由で障害を受けると、濾過できなくなったり、逆に電解質や蛋白質が漏れ出たり、出血したりすることになります。腎臓の状態はeGFR(推算糸球体濾過率)と言う、100%の内どれだけ機能しているかを示す検査値や尿検査、腎生検などをもとに判断し、3ヶ月以上eGFRが60未満で持続、あるいは蛋白尿や腎形態の異常といった障害が続くと、「慢性腎臓病」と診断されます。

慢性腎臓病の原因として多いのが、糖尿病、糸球体腎炎、高血圧症の3つです。原因は何であれeGFRが低下していくと、①濾過・再吸収の異常で毒素や水分などが貯まり辛い症状が出てくる、②原疾患や貯留する物質によって血管系の疾患(脳卒中、心筋梗塞など)が起こりやすくなります。慢性的に低下したeGFRの改善は難しいことが多いものの、投薬や栄養指導、知識の獲得によって低下速度を緩めることで腎臓が働かなくなった状態、つまり末期腎不全に至

るまでの期間をできるだけ延ばすことが治療の目的となります。また、それでも進行し末期腎不全となった際には、腎移植や透析治療を行うことで命を失わず生きていくことが可能となります。特に透析治療に対してはネガティブな意見が多いですが、数ある人工臓器を用いた治療の中で唯一、日常生活を長期間継続できる治療という点は知っておいて頂ければ幸いです。

寿命の高齢化に伴い、加齢による腎機能低下の影響が無視できない時代となってきました。できる限り末期腎不全へ至らず天寿を全うできるように、また透析治療が必要となった際に困らないように、腎臓内科の介入が求められます。尿蛋白の出現やeGFRの低下を指摘された際には、一度腎臓内科の外来にご相談下さい。よろしくお願い致します。



(図)ネフロン

単独がん検診のご案内



種類	検査方法	料金	
		安芸高田市の方	
		国民健康保険加入者(40歳以上の方) 後期高齢者医療保険加入者	社会保険等加入者(40歳以上の方)
胃がん検診	バリウム検査	無料	1,500円
肺がん検診	レントゲン	無料(社保65歳以上の方は無料)	500円(社保40歳~64歳まで)
大腸がん検診	検便	無料	400円
	大腸カメラ	16,500円(安芸高田市の助成はありません) 74歳までの方が対象です。	
乳がん検診	マンモグラフィ	無料	2,000円

種類	検査方法	安芸高田市の方	
		国民健康保険加入者 (20歳以上の方)	社会保険等加入者 (20歳以上の方)
子宮がん検診	細胞診	無料	1,620円

※安芸高田市の方で、年度内に人間ドックや総合健診のがん検診を受けている方は、助成が受けられません。
 ※安芸高田市以外の方も受けられます。料金についてはお問い合わせください。

人間ドックのお申し込みも随時受け付けています

胸部レントゲン、心電図、腹部エコー検査、胃検査(胃カメラまたはバリウム)、血液検査等が含まれます。
 (※安芸高田市の助成を受ける場合、受診できる期間が決まっています。)
 ご希望者には、脳ドックや肺CT、乳がん検診や子宮がん検診も同日に受けられます。

ご加入の健康保険組合の助成が受けられる場合があります。お問い合わせください。
 ※ご加入の健康保険組合の助成に関して、今年度は締め切っている場合があります。
 毎年、年度終わり又は年度初めに各健康保険組合から募集等があります。その機会に
 ぜひ、JA吉田総合病院をお選びいただきお申し込みください。その他、お気軽にJA吉
 田総合病院健康管理センターへお問い合わせください。

お申し込み問い合わせ JA吉田総合病院 健康管理センター直通

☎ 0826-42-5372

第8回 市民公開講座を開催

11月18日(土)に安芸高田市民文化センターにおいて第8回市民公開講座を開催しました。
 今回は「フレイル予防」をテーマに当院の杉山英二病院長、精神科部長高石佳幸先生、吉村歯科医院
 吉村直規院長様、リハビリテーション科室地敏雄科長にご講演いただきました。会場口ビーでは安芸
 高田市から元気教室を紹介するポスター展示や、業者の方々によるおむつの展示、栄養補助食品な
 どの紹介をしていただきました。当日は初雪を観測しとても寒い日となりましたが、たくさんの方々に
 ご参加いただきましてありがとうございました。



広島テレビ
西名みずほアナウンサー

初の施設サービス事業所と 吉田総合病院連携協議会を開催



10月24日に安芸高田市内および近隣市町の高齢者
 施設の配置医と施設長の皆さん22名にご参加いた
 だき、初となる「施設サービス事業所と吉田総合病院
 連携協議会」を開催しました。
 今回は第1回目として、顔の見える関係作りを目的に
 施設の概要や当院の状況などを報告し共有しまし
 ました。皆様から質問やご意見を頂き活発な会となりま
 した。

当院から

- ①スムーズな外来診療について
- ②会計の待ち時間負担軽減の案内
- ③スムーズな入退院について

の情報提供と

お願いをさせて頂きました。アンケートの結果、全施
 設の方がこのような連携の会を毎年開催して欲しい
 と回答を頂き次につながりました。

